

農

地域を支える

農業人

WAZABITO

PROFILE

あべ つねひろ

阿部 恒広 さん

ABE TSUNEHIRO

55歳

弥富市神戸

安定した出荷で 産地の魅力を伝えたい

弥富市神戸でミツバの栽培を行う阿部恒広さんは、共撰出荷で名古屋・関西・北陸方面や契約している弁当屋への出荷を行っています。今年で就農から25年を迎える阿部さんは、農業を営む家系に生まれ、30歳の時に家業を継いだのがきっかけで農業の道に入りました。現在は、十四山水耕みつば組合に所属し、約35アールの圃場を管理しながら10名の従業員と共に水耕栽培にて通年でミツバの栽培や出荷に勤しんでいます。

栽培を続けていく中でのこだわりとして、需要期である土用の丑の日や年末年始、七草粥の時期などに合わせて出荷量の調整をしています。また、季節に応じて異なる種苗会社の種子を使い分けています。ただし、昨今の夏場は気温も高く高温障害に悩まされることがあります。そのため、対策として「定植する際は密にならないように、間隔を空けています」と話します。また、水耕栽培であるため病害虫の被害も広がりやすく、適切な対応ができるように心がけています。

収穫後はパック詰め作業を行うため、特に人手が必要となります。安定した出荷を継続していくためにも人材の確保が必要であり、教育体制の確立や給与面の改善などが課題です。栽培や出荷に苦労はありながらも「より多くの方にミツバの良さを知ってもらいたいのので、産地としてもブランド化を目指していきたいです」と意気込みを語ります。

「手間をかけた分だけしっかりと応えてくれるのが農業の魅力です。ただ、気を抜くと病害虫の被害に悩まされるため、常に気を引き締めています」と話す阿部さん。最後に「皆様に喜んでもらえるよう、美味しいミツバをお届けします。見かけた際は、ぜひ手に取って味わってみてください」とメッセージをいただきました。



▶ミツバの状態を確認する阿部さん

▶ハウス内で水耕栽培しているミツバ